

富士フイルムメディカル

<https://www.fujifilm.com/fms.ja>

地球上の笑顔の回数を増やしていく。

【主な紹介製品】

- AIプラットフォーム
「SYNAPSE SAI viewer」
- 3D画像解析システム
「SYNAPSE VINCENT」
- 放射線部門業務システム
「RADISTA Workflow」
- 放射線治療部門情報システム
「RADISTA TheraRIS」
- マルチスライスCTシステム
「FCT iStream」
- 1.5T超電導MRIシステム
「ECHELON Smart ZeroHelium」
- 超音波診断装置
「ARIETTA 850 DeepInsight」



1.5 テスラ超電導MRIシステム
「ECHELON Smart ZeroHelium」

CTシステム「FCT iStream」

AIプラットフォーム
「SYNAPSE SAI viewer」

◆1.5 テスラ超電導MRI

「ECHELON Smart ZeroHelium」

1.5 テスラ超電導MRIシステム「ECHELON Smart ZeroHelium (エシェロン スマート ゼロヘリウム)」は、液体ヘリウム^{*1}を一切使用しない完全ゼロ液体ヘリウムを実現し、磁性体の吸着事故などのトラブル発生時に専門のサービス員に依頼することなく、ユーザー自身が復旧作業を行える^{*2}ため、早急な復旧が可能であり、ダウンタイムを削減して安定稼働に貢献できる。

また、ヘリウム排気管が不要なため、コンパクト設計を実現、高い設置性を実現している。

さらに、画質を維持しながら撮像時間を短縮できる高速撮像技術と、AI技術^{*3}を活用して開発したノイズ除去技術により、画像の高画質化と検査時間の短縮を両立している。

◆マルチスライスCTシステム

「FCT iStream」

「FCT iStream」(エフシーティー アイストリーム)は、検査効率向上技術 SynergyDrive^{*4}により、被検者が検査室へ入室して検査後に退出するまでの一連の検査ワークフローを効率化し、検査時間の削減を実現する。さらに、断層画像から高精細な3D画像を描出する3D画像解析システム「SYNAPSE VINCENT」の基本機能を採用しているため、撮影後にその場で部位の機能解析に適した3D画像を得ることが可能である。

◆AIプラットフォーム

「SYNAPSE SAI viewer」

読影ソリューションコーナーでは、AI技術^{*5}を用いてワークフローの効率化を図るシステムとして、AIプラットフォーム「SYNAPSE SAI viewer」、

ビューワー一体型読影レポートシステム「SYNAPSE SAI Report」を中心とした展示を行う。

新バージョンである「SYNAPSE SAI viewer Ver2.6」では、頭部MRI画像向けの3つの読影支援機能を搭載。具体的には、①頭部FLAIR画像から高信号領域、頭部T2^{*}強調画像から低信号領域を抽出する「頭部FLAIR高信号強調フィルタ/頭部T2^{*}低信号強調フィルタ」、②非造影T1強調画像に対して脳区域をラベリングする「脳区域ラベリング(MR)」、③MRA画像の血管観察を容易にする「MRA脳抽出」である。

また、CT画像読影支援機能もさらに進化させ、リンパ節抽出機能の対象範囲を拡充。提供済の「縦隔・腋窩リンパ節抽出」機能に加え、今回、頸部・腹部のリンパ節を抽出する「CT頸部・腹部リンパ節抽出」機能を新たに搭載している。

*1 液体ヘリウムを一切用いずに超電導状態を維持できる。
*2 緊急時を除く。一部サービス員が必要な場合がある。
*3 AI技術のひとつであるMachine Learningを用いて開発した。導入後に自動的に装置の性能・精度が変化することはない。

*4 SynergyDriveはワークフロー向上技術の総称。AI技術のひとつであるMachine Learningを活用して開発した機能を含む。導入後に自動的に装置の性能・精度が変化することはない。
*5 AI技術のひとつであるディープラーニングを設計に用いました。導入後に自動的にシステムの性能や精度が変化することはない。